



日本実験動物医学会 2018-2019 年度総会

2018年9月13日(木) 11:00~12:00

つくば国際会議場

(第161回日本獣医学会学術集会)

総会次第

開 会

会長あいさつ

授与式

2018-2019年度(第15回)前島賞授与式

2017-2018年度 実験動物医学専門医認定式

議長選出

議 事

[1] 会則の改定

[2] 2017-2018年度事業報告

[3] 2017-2018年度決算報告

[4] 2018-2019年度事業計画

[5] 2018-2019年度予算案

[6] JALAM 功労賞の制定

[7] その他

報告事項

閉 会

◎2018-2019年度(第15回)前島賞授与式

◎2017-2018年度 実験動物医学専門医認定式

新実験動物医学専門医(敬称略)

番号144	雨貝 陽介	番号149	佐々木一益	番号154	宮田 桂司
番号145	小川 祥司	番号150	高木 篤也	番号155	村瀬 詩織
番号146	小野 麻衣子	番号151	高山 真	番号156	村田 智昭
番号147	小野里知哉	番号152	中村紳一郎		
番号148	櫻井 健	番号153	服部 秀樹		

2017-2018~2019-2020 年度役員会(理事・監事)

会長	安居院高志 (北海道大学) (渉外担当理事兼任)	理事	下田 耕治 (慶応義塾大学)
副会長	池 郁生 (理化学研究所)	理事	鈴木 穂高 (茨城大学)
理事	角田 茂 (東京大学) (会計・事務局担当)	理事	古市 達哉 (岩手大学)
理事	久和 茂 (東京大学)	理事	森松 正美 (北海道大学) (庶務担当)
理事	佐々木宣哉 (北里大学)	監事	黒澤 努 (鹿児島大学)
		監事	橋本 道子 (アステラスリサーチ テクノロジー)

【 議 事 】

[1] 会則の改定

[2] 2017-2018 年度事業報告 (8/1~7/31)

1. 2017-2018 年度総会の開催

時期：2017 年 9 月 15 日

場所：鹿児島大学 第 160 回日本獣医学会学術集会

議事：2016-2017 年度事業報告 (8/1-7/31)/2016-2017 年度決算報告 / 2017-2018 年度事業計画案 (8/1-7/31)/ 2017-2018 年度予算案 / 来年の学会とエクスカージョンについて / 報告事項

2. 理事会の開催

(1) 第 1 回理事会

時期：2017 年 9 月 13 日

場所：鹿児島大学 第 160 回日本獣医学会学術集会

出席者：安居院、池、角田、佐神、佐々木、下田、古市、三好、森松(以上理事)、黒澤(以上監事)

欠席者：橋本(監事)

オブザーバー：鈴木 (新理事候補者)

(2) 第 2 回理事会

時期：2018 年 5 月 15 日

場所：富山県民会館 第 65 回日本実験動物学会総会

出席者：安居院、池、角田、久和、佐々木、鈴木、下田、古市、森松(以上理事)、黒澤、橋本(監事)

3. 学術集会委員会

委員長：佐々木宣哉 (北里大)

委員：岡村匡史 (副委員長、国際医療センター)、北村 浩 (酪農大)、花木賢一 (感染研)、佐々木隼人 (北里大)、越後谷裕介 (日大)、小久保年章 (放医研)、綾部信哉 (理研)

(1) 第 160 回日本獣医学会学術集会開催期間中、平成 29 年 9 月 13 日に学術集会委員会を開催した。

議題：今後の実験動物医学シンポジウムについて

(2) 第 160 回日本獣医学会学術集会開催期間中、平成 29 年 9 月 15 日に委員長が日本獣医学会プログラム委員会に出席した。

(3) 前回委員会から今回委員会までの間に ML で第 65 回日本実験動物学会総会ならびに第 161 回日本獣医学会学術集会における JALAM シンポジウム内容等について検討し、準備を進めた。

(4) 下記の通り、教育講演・シンポジウムを企画・開催した。

第 160 回日本獣医学会学術集会

JALAM シンポジウム「実験動物としてのブタ～最新の応用例から動物福祉まで～」

時期：平成 29 年 9 月 14 日

場所：鹿児島大学

第 65 回日本実験動物学会総会

JALAM シンポジウム「パスツレラ、ヘリコバクター、コリネ三題噺」

時期：平成 30 年 5 月 15 日

場所：富山県民会館

4. 情報・編集委員会

委員長：鈴木穂高 (茨城大)

委員：伊藤麻里子 (副委員長、名大)、綾部信哉 (理研)、大沼健太 (佐藤製薬)、和穎 岳 (ヤクルト中央研)、明貝俊彦 (ふくしま医療機器開発支援センター)、近藤友宏 (大阪府大)

(1) JALAM NEWS LETTER「実験動物医学」No. 49 (2017. 8 三好担当) および No. 50 (2018. 4 伊藤担当) を編集し、本学会ホームページ (HP) に掲載した。

(2) 本学会一般公開 HP を jalam.jp ドメインで管理運営し、随時、内容を更新した。

(3) JALAM-ML (jalam@umin.ac.jp) および会員 HP (http://jalam.jp/htdocs/) を管理運営した。

(4) 第 160 回日本獣医学会学術集会開催期間中、平成 29 年 9 月 13 日に JALAM 情報・編集委員会を開催した。

出席者 (旧委員)：三好、山添、大沼、森松

議事：

1. ML や HP の運用、JALAM NEWS LETTER の役割について： 会員ページ掲示板や JALAM NEWS LETTER「実験動物医学」は本学会の公式な情報伝達・共有手段であることから、益々の活用を促進するべく働きかけを継続する。

2. 全会員宛 mail の不達を解決するためのサーバーシステムの変更について： 現在のサーバ

システムでは mail が全会員に配信されていないケースが散見される。もう一年間契約を継続し、アドスリーと共に原因解明、解決法を模索するが、その後の契約等に関しては改めて検討することとした。

3. JALAM NEWS LETTER「実験動物医学」の発行について： 引き続き年2回の発行とする。

5. 研修委員会

委員長：久和 茂(東大)

委員：中村紳一朗(副委員長、滋賀医科大)、岡村匡史(国際医療研究センター)、倉岡睦季(精神・神経医療研究センター)、小久保年章(放医研)、今野兼次郎(京大)、高木久宜(日本エスエルシー)、林元展人(実中研)、藤澤彩乃(東大)

第160回日本獣医学会に合わせ、平成29年9月16, 17日にウェットハンド研修会「II. イヌ及びブタの獣医学的管理」を鹿児島大学(鹿児島市)で共催した。参加者は29名。また、第1回委員会を9月13日に鹿児島大学で開催した。

第65回日本実験動物学会総会に合わせ、平成30年5月12, 13日にウェットハンド研修会「III. サル類の獣医学的管理」を㈱イナリサーチ(伊那市)で共催した。参加者は20名。また、第2回委員会を5月17日に富山県民会館(富山市)で開催した。

6. 実験動物学教育委員会

委員長：古市達哉(岩手大)

委員：横須賀 誠(副委員長、日獣大)、安居院高志(北大)、浅野 淳(鹿児島大)、猪股智夫(麻布大)、越後谷裕介(日大)、大杉剛生(酪農大)、岡田利也(大阪府大)、角田 茂(東大)、木村 透(山口大)、久和 茂(東大)、佐々木宣哉(北里大)、佐々木隼人(北里大)、佐藤雪太(日大)、竹内崇師(鳥取大)、田中あかね(東京農工大)、富岡幸子(鳥取大学)、二上英樹(岐阜大)、橋本 統(北里大)、森松正美(北大)

- (1) 実験動物学教育委員会メーリングリストを利用して、講義・実習に関する意見交換を行った。
- (2) 第160回日本獣医学会学術集会において JALAM 日韓合同シンポジウム「日韓両国における実験動物医学の卒前・卒後教育」を理事会と共催した(平成29年9月15日)。
- (3) 第160回日本獣医学会学術集会において委員会を開催した(平成29年9月15日)。日韓合同シンポジウムにお招きした韓国の先生を交えて、実験動物学教育に関する意見交換を行った。
- (4) 獣医学教育モデル・コア・カリキュラムに準拠して編集された「実験動物学」(朝倉書店)の改訂作業を行い、第2版を平成30年3月に出版した。

7. 実験動物法規等検討委員会

委員長：下田耕治(慶應大)

委員：大沢一貴(副委員長、長崎大)、笠井憲雪(東北大)、二上英樹(岐阜大)、武井信貴子(イナリサーチ)、横山政幸(武田薬品工業)

- (1) 第160回日本獣医学会学術集会において第1回委員会を開催した。動物の愛護及び管理に関する法律の改正について、意見交換した。

8. 前島賞選考委員会

委員長：池 郁生(理研)

委員：三好一郎(副委員長、東北大)、岡本宗裕(京大)、小野悦郎(九大)、加藤啓子(京都産業大)、杉山文博(筑波大)、中村紳一朗(滋賀医大)、山中仁木(長崎大)

前期委員会(委員長：佐々木宣哉(北里大))により、2017-2018年度前島賞候補者の選考が平成29年9月14日に行われ、下記の越後谷裕介会員を候補者としてふさわしいと結論し、安居院会長に報告した。なお、その後の総会で、同会員が表彰された。

候補者：越後谷裕介会員(日本大学生物資源科学部獣医学科)

研究課題：筋ジストロフィーモデル犬の心機能に対するペプチド抱合型モルフォリノ介在性マルチエクソン・スキッピングの治療効果

9. アドホック委員会

委員長：安居院高志(北大)

委員：小山公成(アステラスリサーチテクノロジー)、佐々木宣哉(北里大)、瀬戸山健太郎(鹿児島大)、武井信貴子(イナリサーチ)

イヌを試験・研究及び教育に使用する際の提言案をまとめたが、JALAM メーリングリストにおいて提言とすることへの反対意見が多かったため、欧米の状況をまとめた委員会報告として公開した。

[3] 2017-2018年度決算報告(8/1~7/31)(別紙参照)

一般会計決算報告について

会費納入状況について

[4] 2018-2019 年度事業計画 (8/1～7/31)

1. 総会

2018-2019 年度総会を第 161 回日本獣医学会会期中に行う。

2. 学術集会委員会

- (1) 第 161 回日本獣医学会学術集会開催期間中、委員会を 1 回開催する(平成 30 年 9 月 12 日)。
- (2) 第 161 回日本獣医学会学術集会開催期間中、委員長が日本獣医学会プログラム委員会に出席する(平成 30 年 9 月 13 日)。
- (3) 下記の教育講演・シンポジウムを企画・開催する。
第 161 回日本獣医学会学術集会において JALAM シンポジウム「糖尿病：基礎研究から臨床応用へ向けて」を開催する(平成 30 年 9 月 13 日)。
 - A) 第 66 回日本実験動物学会における JALAM シンポジウムを企画する。
 - B) 第 162 回日本獣医学会における JALAM シンポジウムを企画する。

3. 情報・編集委員会

- (1) JALAM NEWS LETTER「実験動物医学」No.51 (2018.8 和颯担当) および No.52 (2019.4 担当未定) を編集し、本学会ホームページ (HP) に掲載する予定。
- (2) 本学会 HP を改訂し、その内容を随時更新する。
- (3) 会員 HP (<http://jalam.jp/htdocs/>) を管理運営する。
- (4) 第 161 回日本獣医学会学術集会開催期間中、平成 30 年 9 月 11 日に委員会開催予定。

4. 研修委員会

本年 9 月 9, 10 日に「III. サル類の獣医学的管理」をハムリー(株) (古河市) で共催する。161 回日本獣医学会学術集会開催時 (9 月 11 日) に委員会を開催し、ウェットハンド研修会のコアカリキュラム検討、同研修会の参加費等運営について審議。また、2019 年 5 月の第 66 回実験動物学会に合わせウェットハンド研修会「I. げっ歯類及びウサギの獣医学的管理」を共催予定である。

5. 実験動物学教育委員会

- (1) 委員会を 1 回 (平成 30 年 9 月 11 日) 開催する。
- (2) 実験動物学教育委員会のメーリングリストを通して、意見・情報の交換を行う。

6. 実験動物法規等検討委員会

- (1) 第 161 回日本獣医学会学術集会開催期間中、平成 30 年 9 月 12 日に委員会開催予定。
- (2) 動物愛護管理法の改正に関する情報を収集する。
- (3) 動物愛護管理法関連法規等について、理事会から諮問された案件について検討し、その結果を理事会へ報告する。

7. 前島賞選考委員会

第 161 回日本獣医学会学術集会開催期間中、平成 30 年 9 月 12 日に委員会開催予定。

[5] 2018-2019 年度 (8/1～7/31) 予算 (別紙参照)

1. 一般予算について

[6] JALAM 功労賞の制定

[7] その他

【 報告事項 】

1. 2017-2018 年度会員数

日本実験動物医学会 会員数 合計 386 名 (2018 年 7 月 31 日現在)

2. 2017-2018 年度入退者数

入会 36 名
退会 20 名 (会費滞納による退会 14 名)